

枚方牧野定例探鳥会 2019年1月

2019.1.6(日) 9:00~14:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

南 茂夫、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩、香月清宏

明けましておめでとうございます。本年も良き鳥との出会いをたのしみたいと思っています。

1. 探鳥会集合場所 今年から集合場所を京阪枚方市駅から約5分の「ラポールひらかた前」とし、探鳥会名を**枚方牧野探鳥会**に改称します。

これにより①冬は順光で観察できること、②集しやすくなること、③猛暑月や途中雨の時は御殿山駅終了の短縮コースにできるなどのメリットがあります。

一方、④昼食場所をどこにするかは何ヶ月か実施すれば、定位置が決まると思っています。



20181202 探鳥会終了時全員集合↑

2. 先月の探鳥会より 初冬とは思えぬ穏やかな小春日和、上空をハイタカ・ミサゴ・ハヤブサ・チョウゲンボウなどが次々飛び交い、淀川本流では、カワアイサも早を含めたカモの仲間がほぼ勢揃い、またカムリカイツブリの大群も楽しめました。冬の小鳥ではツグミ・シロハラが少なかったが、シメ・ベニマシコ・アカハラが出てくれた。そして今日のトピックスはアカゲラ、先月は磯島グランド下流のセンダン林にいたが、今回は2kmほど上流で、1カ月後に皆伐される予定の林だったので、全員が観察でき大感激でした。来月度から「枚方牧野探鳥会」に衣替えするが、その**集合場所(ラポールひらかた)で鳥合わせ**、そして全員集合写真(上の写真)で終了とした。



20181202 アカゲラ(沖光二氏)↑



♂ カワアイサ
181202(沖氏)
♀

3. 今月の鳥 カワアイサ 牧野探鳥会で観察できるカモの目玉はカワアイサ、遠くにいることが多いのですが、時には近くに来てくれるものの、川の流れに身を任せていること、また潜ることが多いこと、個体数が多くないことなどから、ゆっくり姿を見ることが少ない鳥です。カワアイサは潜水し魚を食べるカモ、嘴の先端がクサビのように曲がり、周りに歯のようなギザギザがあり捕らえた魚をがっちり啜ることができ、一旦捕らえた魚は絶対逃がさないようなつくりになっています。大阪府内の河川で毎冬カワアイサが観察できるのは、枚方牧野探鳥会コース周辺のみでないかと思われるので、枚方牧野の鳥と言えるかもしれません。今日も観察できることを楽しみに、探鳥会を進めたいと思います。

← カワアイサ(沖光二氏)

4. 自転車に十分注意を 枚方牧野探鳥会は鳥が多いけれども、コースに「トイレが無い・自転車が危ない」の厳しいコースです。特に自転車は、数百台が猛スピードでひっきりなしに通過するので、ぶつかる怪我し痛い目に合うのはバードウォッチャーです。前後左右に目を配り、鳥だけでなく「**自転車を確認してから動く**」よう充分ご注意下さい。



18/02/2018 10:15

5. 穂谷川河口近くに残っていた樹林は今年3月まで皆伐

淀川河川事務所より、樹木伐採予定地で樹が残っている区域について、1月10日(木)より伐採作業を開始すると連絡がありました。従って、穂谷川近くの樹林は今年のみ、2月探鳥会日にはなくなっている可能性大です。

20181202 今日自転車部隊↑

6. 2019年3月探鳥会は3月2日(第1土曜日)に変更

2月3日(第1日曜日) ラポールひらかた 9:00 集合

3月2日(第1土曜日) " "

↳3月3日(日)は探鳥コースで**淀川寛平マラソン**が開催されるため、一日早めます。

